

どうしがやフレーザーパーク通信 2019.2.17

◇日時：平成31年2月17日（日）午前10時30分～午後2時30分 ◇天気：晴

◇場所：豊島区立南池袋第二公園（らくだ公園） ◇参加：100人程度

◇スタッフ：清永、浜野、坂田、水越、佐分

◇お手伝い：（雑司が谷ひろばくらぶ）堀江、武藤、小野、ウィルコックス、松浦、（日本女子大）原、大山、渡瀬

◆来訪者：工藤さん（区公園緑地課）、村上さん（区議）

◇みられた遊び：◆段ボール秘密基地づくり ◆コマ・ベーゴマ・けん玉・パタパタ・割りばし鉄砲

◇簡単報告：

◆初めてのかまどベンチ、火の使用にあたり、開催の一時間前から、雑司が谷ひろばくらぶを中心とする地域の方々が準備の手伝いをしてくださった。かまどベンチは二台使用し、湯沸かしと、焼き網に使った。

◆たくさんの親子が、りんご、もち、イモ、チーズなど、思い思いの物を持ち寄って焼いたり、温めたりして楽しんだ。子どもたちが焼け具合を確かめながら、最後は自分の感覚で、「焼けたよ！」と自信をもって嬉しそうに、食べていたのがよかった。

◆段ボール工作では、公園の端の植え込みの近くに小学生男子が秘密基地をつくる姿が見られた。なかなか居心地のよさそうな基地だった。ちいさな子どもの工作に、5歳児が手を貸す微笑ましい姿もあった。

◆保護者から、「ここでは、他の子どもからよく話しかけられます」との声があった。親子の枠を超えて安心して遊べる場となればよい。

◆今回から保険に加入。名簿に記名したのは60人だった。（実際の参加者はもっと多い）

◇その他：

◆擁壁のほうへ渡って遊ぶ小学生の姿があり。都度、「落ちたら死んじゃうかもしれないよ。こんなところで死んだり大けがをしたらつまらないし、公園だって閉鎖になっちゃうよ」と声掛け。都度納得して、そちらの方へは行かなくなかった。⇒危険に気づかず、簡単に入り込める構造になっていくことが問題。引き続き区役所に対策をお願いする。

◆マシュマロ焼きに使った長い竹串を持ったまま走り回ったり、遊ぶ子どもがあった。重大事故につながる危険がある。都度注意。⇒次回から、竹串を回収する場所（空き容器など）を設ける。

◆食べ物のゴミは各自でなるべくもちかえるよう周知する。

◇次回（3月17日）にむけて：

◆買い足すもの：毛糸、炭、

◆来年度の申請準備：豊島区の後援依頼、公園の占有許可

